



2018年
5月20日発行

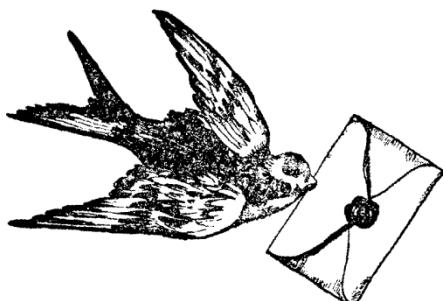
拝啓

風薫るさわやかな季節となりました。新入生のみなさんは学校にも慣れてきた頃でしょうか。ゴールデンウィークも終わり、少しずつ日々のペースをつかみ始めた時期にこそ、ゆっくりと読書をしてみるのはいかがでしょうか。図書館では、たくさんの物語が読者である皆さんにお会いできることを楽しみにしています！

かしこ

* * * 今月号の *Line up!* * * *

1. 図書館カレンダー 6月～7月
2. LiLian Special Info. こんなキャンパスライフを送りたい
3. 今月のおすすめ本『茅田砂胡全仕事』
4. LiLian Interview



2018年6月～7月 カレンダー



6月

日	月	火	水	木	金	土
					1 	2
3 休館	4 	5 	6 	7 	8 	9
10 休館	11 	12 	13 	14 	15 	16
17 休館	18 	19 	20 	21 	22 	23
24 休館	25 	26 	27 	28 	29 	30

8:30～20:00

9:00～16:30

7月

日	月	火	水	木	金	土
1 休館	2 	3 	4 	5 	6 	7
8 休館	9 	10 	11 	12 	13 	14
15 休館	16 休館 海の日	17 	18 	19 	20 	21
22 休館	23 	24 	25 	26 	27 	28
29 休館	30 	31 				

最新情報はHPを見てくださいね☆

金城学院大学図書館

LiLian Special Info.

こんなキャンパスライフを送りたい!!

皆さんはどんなキャンパスライフを送りたいですか？

せっかく大学に入ったのに

「少しも楽しくない」という人も少なくないのでは？

そんな方にオススメ！

「大学って楽しそう」「こんな大学生活を送ってみたい！」

とあらためて思い起こさせてくれるような、小説を紹介します！

+++++++++++++++++++++

憧れるようで憧れない、おかしくもほろ苦い青春



『四畳半神話大系』

森見登美彦/著 請求記号 913.6/Mo54/3

冴えない大学三回生。バラ色の大学キャンパスを想像していたのに、現実は程遠い。

自分の選択は間違っていたのか！一回生に戻ってやり直したい！

4つの並行世界で繰り広げられる自分探しの旅。

→図書館にはDVDも置いてあるので小説が苦手な方でもオススメ！

非日常を味わいたいあなたに

『砂漠』

伊坂幸太郎/著 請求記号 913.6/168/13



大学生活を楽しむ5人の大学生。

社会という「砂漠」に囮まれた「オアシス」で超能力に遭遇し、不穏な犯罪者に翻弄される展開。

自分の未熟さに悩み、過剰さを持て余し、それでも何かを求めて手探りで先へ進もうと奮闘する姿を描いている。

キュートでポップな恋愛ファンタジー

『夜は短し歩けよ乙女』

森見登美彦/著 請求記号 913.6/Mo54



「黒髪の乙女」にひそかに想いを寄せる「先輩」は、

京都のいたるところで彼女の姿を追い求める！

二人を待ち受ける珍事件の数々、そして運命の大転回とは？



* * * 今月のおすすめ本 * * *

『茅田砂胡全仕事』

茅田砂胡/著 (請求記号: 913.6/Ka984)

生き方の格好いいキャラクターがたくさん出てくる茅田さんの本は、

新生活に踏み出した時期にもうってつけ。

あなたの悩みを解決する手がかりもあるかもしれません。

シリーズ物は手を出しにくい、という方にもオススメの、

茅田砂胡入門にぴったりな一冊です。

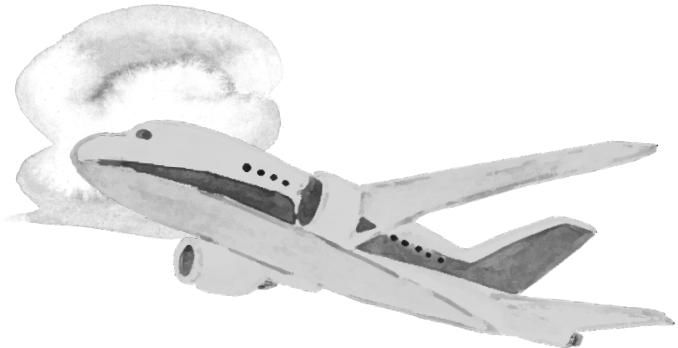
あなただけの特別な出会いがありますように。

(M・W)

☆ 国情の学生に大人気!!

☆ 元パイロット志望!?

☆ 実は現実主義者?



1. 趣味(好きなこと)は何ですか?

モノを作ることが好きです。昔から絵を描いたり、プラモやコンピュータなどを組み立てたりすることが好きでした。このモノ作り精神は今の仕事にも通ずるところがあると思います。他には、テニスや映画・音楽鑑賞などもします。一番好きな映画は『トップガン』です。パイロットを目指していた時期もあったので自分にとっては特別な映画です。音楽は幅広く何でも聴きます。

2. 学生時代の思い出は?

学部生時代はテニスコーチのアルバイトをしたり、普通の学生と同じように遊んだりしていましたが、大学院への進学という目標ができてからは1日10時間以上勉強していました。その後、6年間の院生時代はひたすら研究活動に勤しんでいたので、20代はほとんど勉強ばかりしていました。

3. 社会情報学を研究することになったきっかけは? その魅力は?

大学では経済学部に所属していましたが、プログラミングやコンピュータに興味を持ったことがきっかけで、情報の世界に足を踏み入れました。この分野の魅力は、インターネットを上手く利用して社会の役に立つモノを創り出すことができるという点ですね。

4. 大学教員という仕事の魅力、大変なところは何ですか?

大学という場が好きです。社会に影響を与えることのできる可能性を秘めた人たちが集まる場であるからです。社会へのニーズに応えるだけでなく、ニーズを生み出すことができるという点においてもとても魅力的ですね。

その一方で、学生から相談を受けることが多々あるのですが、自分のアドバイス一つで学生に大きな影響を与えてしまう可能性があるので、他の人よりも早く人間的に成熟することが求められるという点では大変です。学生とのジェネレーションギャップを埋めるためにも常に新しいことにはアンテナを張り、学生に寄り添うとのできる自分作りを心掛けています。

5. 座右の銘を教えて下さい。

『好きこそモノの上手なれ』

好きなものに勝るものはないはずです。

好きなものをどこまで極められるかというのはとても大切なことだと思います。

次ページに続く

6. 金城学院大学の学生に伝えたいこと

「学生時代に色々な失敗をしてください。」

現代社会では失敗は許されないという風潮があります。しかし、“失敗する”ということは“チャレンジ”している証拠です。また、失敗することで得られる“気づき”は“成功への道筋”でもあります。大学では私たち教員が全力でサポートするので、失敗を怖がらず、どんどんチャレンジをしてください！

7. 本 気で好きな本

『最強の戦闘機パイロット』 岩崎貴弘/著

著者はロック岩崎と呼ばれた伝説の戦闘機乗りです。この本は何度も読み返す程、大好きな本なのですが、中でも、命の保証がされていないパイロットの家族について書かれている部分がとても印象的でした。

今でも記憶に残っている本のほとんどはノンフィクション作品です。物語やファンタジー作品よりも、ある人の生き方やメンタリティといったものに興味があります。ノンフィクション作品の方に魅かれるという点では現実主義なのかもしれません。

«インタビューを終えて»

このコーナーに書ききれないくらいの「モノ作りに対する熱い想い」や「学生への接し方」について語って頂きました。読者の皆さんも、たくさんチャレンジしてみて下さいね!!私も色々なことにチャレンジしていきたいと思います!

後藤先生、お忙しい中、お時間を取って下さりありがとうございました。

(LiLian*ちの)

